＜様式1＞

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	地域材で造る「八溝の家」
グループの名称	八溝材で造る住宅研究会
直近採択グループ番号	04-0128-0164

（グループ代表者）

代表者名	石川　忠幸　代表者印
代表者所属先	株式会社 棟匠
代表者所在地	茨城県水戸市泉町
代表者電話番号	029-227-1040

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社 林産
事務局担当者名	石川　栄一　印
事務局郵便番号	319-2205
事務局所在地	茨城県常陸大宮市宮の郷2153-34
事務局電話番号	02-9433-6655
事務局FAX	02-9433-6182
事務局担当者E-mail	eiichi@rinsan.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	地域材で造る「八溝の家」
２．グループの名称(必須)	八溝材で造る住宅研究会
３．直近採択グループ番号(必須)	04-0128-0164
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	茨城県、福島県、栃木県、宮城県、千葉県、埼玉県、東京都、富山県
５．結成年(必須)	2012　年
６．グループ代表者名(必須)	石川　忠幸
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社 棟匠
８．グループ代表者所在地(必須)	茨城県水戸市泉町
９．グループ代表者電話番号(必須)	029-227-1040
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社 林産
１１．グループ事務局担当者名(必須)	石川　栄一
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	319-2205
１３．グループ事務局所在地(必須)	茨城県常陸大宮市宮の郷2153-34
１４．グループ事務局電話番号(必須)	02-9433-6655
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	02-9433-6182
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	eiichi@rinsan.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	3	合法証明ガイドラインに準じて、製材、流通グループに所属する構成員の合法性の証明による方法をとる。
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	3	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	4	
Ⅳ．プレカット	2	手刻みを行う場合、構成員製材、流通グループから直接購入の場合がある。
Ⅴ．設計	10	
Ⅵ．施工	14	
Ⅶ．木材を扱わない流通	2	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	1	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	全国		3	国内
	□　合法木材証明制度を利用する	国外		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国外		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	全国		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	全国		2	国内
	□　FIPC認証制度を利用する	全国		2	国内
	八溝材	茨城県、栃木県、福島県	合法木材証明制度	3	国内

B．平成２９年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型（長期優良住宅） **経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		25	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	25	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	1	戸
		申請が未確定（上限100万円）		1	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	1	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	1	戸
	長寿命型（長期優良住宅） **未経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）			戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		申請が未確定（上限100万円）			戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）		戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）		戸
	高度省エネ型 （認定低炭素住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		3	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	3	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		申請が未確定（上限100万円）			戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）		戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）		戸
	高度省エネ型 （性能向上計画認定住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）			戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		申請が未確定（上限100万円）			戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）		戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）		戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **経験**工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	申請が確実（上限150万円）			戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		申請が未確定（上限150万円）			戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）		戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）		戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **未経験**工務店（4戸（8戸）未満）による申請戸数	申請が確実（上限165万円）		6	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	6	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		申請が未確定（上限165万円）			戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）		戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）		戸

C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実		棟
				㎡
		申請が未確定		棟
				㎡

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	採択戸数より希望戸数が上回る場合は、昨年の実績のある受注の確実な工務店を優先して割り振るが、実績の4戸に満たない実績の少ない工務店にも長寿命型や高度省エネ型住宅の経験を積むためにもで来るだけ割り振る。

E. 平成２８年度の執行状況（必須）

長寿命型（長期優良住宅）

当初予算	採択戸数	15	戸	交付申請戸数	15	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	6	戸
補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸

高度省エネ型（認定低炭素住宅）

当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸
補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸

高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）

当初予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸
補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸

高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）

当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸
補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸

優良建築物型

当初予算	採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績（竣工予定含む）棟数		戸
当初予算	採択床面積		㎡	交付申請床面積		㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積		㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
合法証明ガイドラインに準じて、製材、流通グループに所属する構成員の合法性の証明による方法をとる。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
13	Ⅰ－ 1	協和木材　株式会社		135-0016	東京都江東区東陽5丁目30番13号東京原木会館	03-5857-5225
8	Ⅰ－ 2	茨城県森林組合連合会		319-2205	茨城県常陸大宮市宮の郷2153-23	0294-70-3620
8	Ⅰ－ 3	美和木材協同組合		319-2603	茨城県常陸大宮市鷲子46番地の1	0295-58-2899
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
8	Ⅱ － 4	有限会社　東和木材産業		313-0211	茨城県常陸太田市東染町３２６番地の1	0294-85-0024
8	Ⅱ － 5	ヤマキ木材		319-3512	茨城県久慈郡大子町小生瀬372	0295-76-0222
8	Ⅱ － 7	株式会社　林産		319-2205	茨城県常陸大宮市宮の郷2153-34	0294-33-6655
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
8	Ⅲ － 7	株式会社　林産		319-2205	茨城県常陸大宮市宮の郷2153-34	0294-33-6655
8	Ⅲ － 8	茨城県西プレカット協同組合		308-0846	茨城県筑西市布川81-1	0296-28-8428
8	Ⅲ － 9	茨城東部プレカット協同組合		311-1251	茨城県ひたちなか市山崎113番地1	029-265-5510
8	Ⅲ － 10	株式会社　茨城木材相互市場		310-0826	茨城県水戸市渋井町50番地	029-221-3111
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）　　＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由
手刻みを行う場合、構成員製材、流通グループから直接購入の場合がある。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
8	Ⅳ － 8	茨城県西プレカット協同組合		308-0846	茨城県筑西市布川81-1	0296-28-8428
8	Ⅳ － 9	茨城東部プレカット協同組合		311-1251	茨城県ひたちなか市山崎113番地1	029-265-5510
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ｖ＞

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
8	Ｖ － 11	株式会社　棟匠		310-0026	茨城県水戸市泉町1丁目4番28号	02-9227-1040	○	
7	Ｖ － 12	村越住建　株式会社		963-8862	福島県郡山市菜根5丁目21番8号	02-4934-4434	○	
16	Ｖ － 13	鷹栖建工　株式会社		939-1335	富山県砺波市鷹栖536番地	0763-33-2612	○	
11	Ｖ － 14	株式会社アップルホーム		350-1307	埼玉県狭山市祇園1－17	04-2958-7766	○	
8	Ｖ － 15	ノグチ設計工房		300-1232	茨城県牛久市上柏田4-21-21	029-871-7137	○	
8	Ｖ － 16	青木建築士事務所		307-0037	茨城県結城市大字東茂呂1769-3	0296-35-0589	○	
8	Ｖ － 17	村松建築設計事務所		300-0333	茨城県稲敷郡阿見町若栗2468-2	029-888-1076	○	
16	Ｖ － 18	一級建築士事務所　株式会社　福光組		939-1632	富山県南砺市福光1411-5	0763-52-1075	○	
8	Ｖ － 19	石坂一級建築設計事務所		300-0061	茨城県土浦市並木2-3-7	029-823-8209	○	
9	Ｖ － 20	有限会社　ウッドワークプランニング		329-0402	栃木県下野市笹原83－2	02-8540-0225	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）							14	○	○
8	Ⅵ - 7		株式会社 林産		319-2205	茨城県常陸大宮市宮の郷2153-34	0294-33-6655	○	
8	Ⅵ - 11	61158	株式会社 棟匠		310-0026	茨城県水戸市泉町1丁目4番28号	02-9227-1040	○	
7	Ⅵ - 12	60896	村越住建 株式会社		963-8862	福島県郡山市菜根5丁目21番8号	02-4934-4434	○	
16	Ⅵ - 13	43176	鷹栖建工 株式会社		939-1335	富山県砺波市鷹栖536番地	0763-33-2612	○	
11	Ⅵ - 14	41435	株式会社アップルホーム		350-1307	埼玉県狭山市祇園１－17	04-2958-7766	○	
9	Ⅵ - 20	41209	有限会社 ウッドワークプランニング		329-0402	栃木県下野市笹原８３－２	02-8540-0225	○	
8	Ⅵ - 21	61159	株式会社 棟匠ライフ		311-4152	茨城県水戸市河和田一丁目１８１４番地6	02-9257-7345	○	
8	Ⅵ - 22	61149	有限会社 青木工務店		307-0037	茨城県結城市大字東茂呂１７６９－３	0296-35-0589	○	
16	Ⅵ - 23	43228	株式会社 福光組		939-1632	富山県南砺市福光１４１１－５	0763-52-1075	○	
8	Ⅵ - 24	61177	村松建築		300-0333	茨城県稲敷郡阿見町若栗２４６８－２	029-888-1076	○	
8	Ⅵ - 25	61153	有限会社 石坂工務店		300-0061	茨城県土浦市並木２－３－７	02-9823-8209	○	
8	Ⅵ - 26	61187	大竹ホーム		300-0134	茨城県かすみがうら市深谷３６５９－７	02-9897-0041	○	
8	Ⅵ - 27	61155	株式会社 棟匠プラント		311-0106	茨城県那珂市杉字馬場崎１６９番地	02-9295-5446	○	
12	Ⅵ - 28	61604	?野内建設 株式会社		270-1516	千葉県印旛郡栄町安食３５４８	04-7695-0217	○	
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成28年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金の活用実績		被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち木造認定低炭素住宅の実績		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	○	○			
8	Ⅵ － 7		株式会社 林産	11 戸	12 戸	10 戸	12 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○	○	○	○	○
8	Ⅵ － 11	61158	株式会社 棟匠	73 戸	92 戸	41 戸	41 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○	○	○
7	Ⅵ － 12	60896	村越住建 株式会社	15 戸	17 戸	1 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○	○	
16	Ⅵ － 13	43176	鷹栖建工 株式会社	45 戸	38 戸	4 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○			○	
11	Ⅵ － 14	41435	株式会社アップルホーム	38 戸	38 戸	5 戸	7 戸	0 戸	1 戸	3 戸	1 戸	㎡	㎡	○	○		○	○
9	Ⅵ － 20	41209	有限会社 ウッドワークプランニング	4 戸	2 戸	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
8	Ⅵ － 21	61159	株式会社 棟匠ライフ	21 戸	15 戸	18 戸	14 戸	1 戸	0 戸	2 戸	0 戸	㎡	㎡	○	○	○	○	○
8	Ⅵ － 22	61149	有限会社 青木工務店	2 戸	2 戸	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○		
16	Ⅵ － 23	43228	株式会社 福光組	1 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
8	Ⅵ － 24	61177	村松建築	2 戸	2 戸	1 戸	1 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○		
8	Ⅵ － 25	61153	有限会社 石坂工務店	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○		
8	Ⅵ － 26	61187	大竹ホーム	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○		
8	Ⅵ － 27	61155	株式会社 棟匠プラント	10 戸	10 戸	9 戸	3 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○	○	○
12	Ⅵ － 28	61604	?野内建設 株式会社	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○	○	
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					

<グループ構成員記入用リスト>Ⅶ. 木材を扱わない流通

<様式 2-2・Ⅶ>

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
8	Ⅶ － 29	株式会社 ミトモク		310-0851	茨城県水戸市千波町1884番地	029-241-1311
13	Ⅶ － 30	株式会社 ジューテック		105-0012	東京都港区芝大門一丁目3番2号	03-3433-1300
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

＜様式 2-2・Ⅷ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
8	Ⅷ － 31	八溝多賀木材乾燥協同組合		319-2205	茨城県常陸大宮市宮の郷2153-30	0294-76-2725
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－１＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称） 地域材で造る「八溝の家」	（地域型住宅供給対象地域） 茨城県、福島県、栃木県、宮城県、千葉県、埼玉県,東京都、富山県
２．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称） 八溝材で造る住宅研究会	（結成年） 2012　年
３．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0128-0164	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	当グループは、関東、東北、北陸地方に住宅供給対象地域が有り、高温多湿、寒冷、豪雪等地域のそれぞれの気候・風土に対して住まい方が有る。どの地域でも最良の住環境に成る為に、住宅は地域材（八溝材）で造り、できる限り合板等を排除し、耐震性を強化し、外断熱工法、高気密高断熱の省エネルギーの性能を持った健康住宅の家とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	構造材、羽柄材の指定部材は100%地域材使用を義務付け、軸組工法とする。 各建設地域によって、積雪、日射遮蔽の為の軒の出、開口、台風等を考慮し、それぞれの気候・風土に合った様式とする。 全ての地域で省エネ住宅の性能を維持する為に、断熱材は、押出法ポリスチレンフォーム保温材・硬質ウレタン系、高性能フェノールフォーム保温材等を使用した外断熱工法とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	大空間設計を基本に、成長可能で、各地域に適合した設計プランを行い、良好な景観の形成、住居環境の維持及び向上に配慮する。また日本の伝統を受け継いだ和の工法、仕様を取り入れた住宅造りを、積極的に提案して、日本の住宅として和の文化を継承していく。	◎
④ ①～③の背景	グループによる、一般ユーザーに向けた地域型住宅の提案力を構築する為には、一貫した地域生産システムで、地域環境に沿った省エネ健康住宅を供給し、ユーザーに向けて提案できる体制作りを構築して行かなければならない。また住宅による伝統文化の技術の継承をしていかなければならない。それらの目標を達成するための背景として、上記の①②③のルールや方針を設定しました。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	主要構造材（土台、柱、梁、桁）、小屋組材（母屋、束、垂木）は、100%認定地域材を使用。羽柄材（大引、間柱、マグサ、スジカイ、根太、断熱下地材）は、100%合法認定木材を使用。	◎

イ．効率的な住宅生産体制の整備

【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：内装材の標準化商品、内装無垢材プレカット商品等、標準仕様部材を規格化。規格化商品：構造材（地域材）、羽柄材（地域材）、内装無垢材（地域材）	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：断熱材：押出法ポリスチレンフォーム保温材・硬質ウレタン系、高性能フェノールフォーム保温材等を使用	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：土台：桧120x120、柱：杉、桧120x120以上、梁桁：杉、桧120x120以上、屋根垂木：杉60x45以上	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：一部の建材（断熱材、内装材）においては、共同受発注、共同保管、共同配送を行っている。	◎
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：部材の標準化をし、品質向上と資材流通の合理化を図り、グループ構成員の、工務店、木材生産業者等のネットワーク化を強化し、資材調達を一元化しての合理化を図っている。	◎
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：製材部会による定期的な会議で、構造材、羽柄材、内装材の計画生産に取り組んでいる。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：上棟予定の情報を毎月集計し、事務局と製材構成員、流通事業者との情報を共有して、資材の調達や価格変動に対応できるように、生産の合理化の体制をとっている。	◎
b.	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：長期優良住宅の性能を基準として、指定地域材の100%使用を義務化し、断熱施工方法は、外断熱工法を基準施工（義務化）とする。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	■ ない	□ ある →	内容：設計構成員、施工構成員による検査、アフターメンテナンスの検査ルールを構築して行く。	○
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	■ ない	□ ある →	内容：工務店を中心として、設計事務所、各構成員との連携を図り、スムーズな、見積もり、積算ができるルール体制を構築していく。	○
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：勉強会、研修会を年2回以上実施し、 またユーザー参加の伐採見学と木材生産工場見学会を年4回開催し、川上から川下まで、顔の見える住宅づくりと、信頼性向上に努める。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。					

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）地域材で造る「八溝の家」	（地域型住宅供給対象地域）茨城県、福島県、栃木県、宮城県、千葉県、埼玉県,東京都、富山県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）八溝材で造る住宅研究会	（結成年）2012　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0128-0164	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①	住宅履歴情報の蓄積			
	①-1	内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：事業所独自での住宅履歴情報の蓄積は行わず、履歴情報サービスを利用する。	◎
	①-2	情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある → 内容：履歴情報を、保管する。	◎
	①-3	履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある → 内容：日本住宅保証検査機構の「りれきJIO ‘S」等の登録をして住宅履歴登録書の写しを事務局へ提出。	◎
	②	メンテナンス基準の整備			
	②-1	点検の共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：メンテナンス手法等の確立している構成員と情報を共有し、点検を行っている。	◎
	②-2	補修の共通ルール	■ ない	□ ある → 内容：各構成員にりアフターメンテナンス相談窓口を構築して、ユーザーへの対応を図る。	○
	②-3	点検補修実施の確認手法	■ ない	□ ある → 内容：点検補修等の実施報告、手法等を構築していく。	○
	③	住まいの管理			
	③-1	住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある → 内容：年2回以上開催する、構成員による合同研修会で実施	◎
	③-2	DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある → 内容：年4回以上開催する工場見学会で、無垢材で造るDIY体験の実施をしている。	◎
	③-3	その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある → 内容：年4回以上開催する工場見学会等で、住宅相談会等を実施している。	◎
	④	維持管理委員会等の設置	■ ない	□ ある → 内容：グループ内の維持管理の検討委員会等を構築して行く。	○
	⑤	その他の維持管理の手法	■ ない	□ ある → 内容：職種によっての、定期的なアフターメンテナンス対応を構築して行く。	○
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある → 内容：新築住宅完成サポート保証等の商品を、施工構成員に加入を推奨していく。	○
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある → 内容：日本住宅保証検査機構等による勉強会の実施。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。					

エ．グループの技術力の向上

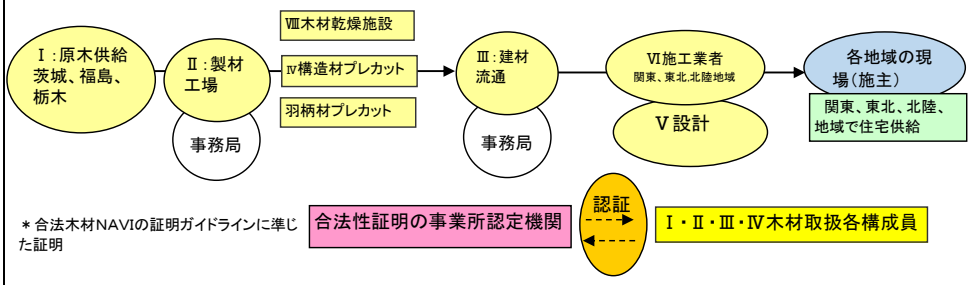
【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある → 内容：長期優良住宅や省エネ住宅の円滑な対応を図る為、勉強会、技術研修会を実施。	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：設計者、施工者、工事監理者は省エネルギー技術に関する講習会の受講を義務化。	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	■ ない	□ ある → 内容：受講修了証等を事務局に提出。	○
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある → 内容：施工構成員から月単位で上棟戸数の情報を集約し、製材構成員への計画表を毎月発信する。	◎
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある → 内容：木造軸組みフレーマー（鳶）を育成し、さらなる生産性と技術力向上を図る。	◎
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある → 内容：木工事において、フレーマー（鳶）と大工職の分業施工で、生産性の合理化を図る。	◎
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 28	今年度の参加目標人数 5	○
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 0	今年度の参加目標人数 5	○
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある → 内容：国、県、企業の主催による省エネルギー施工技術講習会等の案内を事務局で行う。	◎
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある → 内容：屋根下地（垂木、野地板）を、工場でパネル化をして、現場の施工性、安全性を高める。	◎
	②	新たな技術等の開発	■ ない	□ ある → 内容：現場での合理的な施工技術等を研究開発していく。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。					

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称） 地域材で造る「八溝の家」	（地域型住宅供給対象地域） 茨城県、福島県、栃木県、宮城県、千葉県、埼玉県,東京都、富山県	
2．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称） 八溝材で造る住宅研究会	（結成年） 2012 年	
3．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0128-0164		

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①	地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造材（土台、柱、梁、桁）は100%地域材を使用。小屋組材（母屋、束、垂木）は100%地域材を使用。 羽柄材（大引、間柱、マグサ、スジカイ、根太）は100%地域材を使用。	◎
	②	地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	□ 50%未満　□ 50%以上　■ 80%以上	◎
	③	標準的な地域材の使用部位 (必須)	主要構造材 土台：□ 使用していない ■ 使用している 柱：□ 使用していない ■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない ■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等：□ 使用していない ■ 使用している 造作材 枠材、廻縁等：□ 使用していない ■ 使用している 板材 壁板、床板等：□ 使用していない ■ 使用している	◎
	④	地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明		
b	①-1	地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：事務局（製材、木材流構成員）で、上棟戸数の情報を毎月集約し、在庫把握をする。	◎
	①-2	地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：事務局（製材、木材流構成員）で、価格の変動等の情報を、随時各構成員に発信する。	◎
	②	グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：事務局は、各地域の施工構成員から、半期ごとの新築、リフォーム戸数の予定情報を集計し、また半期ごとの結果供給戸数情報も集計し、需給予測を立てる。	◎
c	①-1	畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数（1畳換算）　150 枚	○
	①-2	和瓦の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数：　400 坪	○
	①-3	襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数（3×6換算）　60 枚	◎
	①-4	障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数（3×6換算）　20 枚	○
	②-1	その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：各地域の地場産業商品を積極的に活用する為に、できるだけ木製建具（地域材）、洗面ボールとしての陶器（笠間焼）等住宅に使用していく。	◎
	②-2	その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：真壁工法を取り入れ、珪藻土、漆喰、珪藻土等で仕上げる住宅を取り入れる。	○
d	①	地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：各地域の伝統的な在来工法（軸組み工法）を基本とし、木材（無垢材）を取り入れた丸太、化粧梁等、伝統的なデザインを継承していく。	◎
	②	地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：高温多湿、寒冷、豪雪等地域のそれぞれの住まい方について最良の方法を学び、継承して、住いは壊さず、住つなぐ事をグループとして構築して行く。	◎
	③	地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：各地域の法令等を順守して、景観計画、住民協定などの規制に順じて、町並み景観に配慮した住宅を供給する。	○
	④	和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：真壁工法や、化粧梁等の、和の住まい造りの見学会や研修をして、地域型住宅に取り入れられる体制を構築している。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

カ. その他

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	当グループの地域型住宅供給対象地域になっている福島県、茨城県、宮城県においては、東日本大震災の影響による復興のための職人不足が慢性的に発生している。当グループでは、引き続き、フレーマー（鳶）と大工職人による施工、羽柄材のプレカット等によって、部材の標準化とともに生産性を上げ、納期までに引き渡しする事を被災地の重要課題として取り組んで行く。	◎
平成28年熊本地震の復興に資する取組	東日本大震災の時には、他県から多くの職人、物資等の支援を頂き、復興のスピード化を図ることができた。我々のグループ所在地から熊本県までは、遠隔地で、直接支援はできないが、構成員からの支援金等で少しでも熊本地震の復興に協力していきます。	○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）地域材で造る「八溝の家」	（地域型住宅供給対象地域）茨城県、福島県、栃木県、宮城県、千葉県、埼玉県,東京都、富山県
２．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称）八溝材で造る住宅研究会	（結成年）2012 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0128-0164	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

グループの生産する在来軸組工法の住宅は、軒で日射を遮り、全熱交換型換気システムや省エネ型エアコンを組み込んで、部屋ごとの不快な温度差や空気のよどみなどを解消するとともに、高気密・高断熱の高い住宅性能をベースに、省エネのための給湯器、照明器具などを標準仕様にしてエネルギー削減、CO2削減に努める。
また、節水型トイレや敷地の緑化など環境に配慮した住宅（基本的にオール電化住宅）を推奨する。

ゼロエネルギー住宅では、断熱性能・サッシ性能を強化して断熱性能を高めるとともに、熱交換型換気システムを組み込んで住宅のエネルギー性能を向上させる。また、太陽光発電システムの設置及び、省エネルギー設備の採用を必須とし、住宅のエネルギー効率を高めながら、エネルギーの見える化を図ることにより、居住者に省エネルギーへの関心を高めてもらい、より一層のエネルギー削減できる住宅（基本的にオール電化住宅）を目指す。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。